

江戸の夏(旧暦4~6月)には、暑さを吹き飛ばすように、江戸っ子たちは夕涼みや両国橋の花火見物に出かけたり、妖怪や幽霊を怖がったり、朝顔などの植物から涼を感じていました。現代にも引き継がれている伝統の夏の過ごし方を、浮世絵37点からお楽しみください。



三代歌川豊国・二代歌川広重 江戸自慢三十六興 両こく大花火



三代歌川豊国 見立三十六歌撰之内 藤原敏行朝臣 累の亡魂



三代歌川豊国·歌川広重 当盛十花撰 牽牛花



$^{\circ}$ $^{\circ}$



◆休室日 月曜日(祝日の場合は翌日) 5月28日(金)、6月25日(金)

◆会 場 はだの浮世絵ギャラリー(秦野市立図書館 2 階) 住所 〒257-0015 秦野市平沢 94-1(カルチャーパーク内) TEL 0463-81-7012

◆交 通 小田急線秦野駅北口バス3番のりば《秦08統》渋沢駅行き (日立製作所/桜土手経由)「文化会館前」下車 小田急線渋沢駅北口バス1番のりば《秦08系統》秦野駅行き (日立製作所/桜土手経由)「文化会館前」下車

◆主 催 秦野市

◆問い合わせ 文化振興課(0463-86-6309)

◆ホームページ https://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1524794537613/index.html ⇒

◆ギャラリートーク(作品解説)のお知らせ◆

【日時】 5月21日(金)·6月18日(金) 午後2時~2時30分

【会場】 図書館2階視聴覚室

【定員】 各日20名

【申込】 5月6日(木)から受付

文化振興課へ電話(0463-86-6309)

【参加費】 無料



はだの浮世絵ギャラリー 令和3年(2021年)5月15日(土) ~ 7月4日(日)

	展示目録	作者名	制作年代
1	見立六花撰 あさがお 三代目沢村田之助	三代歌川豊国	文久3年7月(1863年)
2	五代目坂東彦三郎の阿曽次郎・三代目沢村田之助のみ雪	三代歌川豊国	文久3年7月(1863年)
3	江戸むらさきあつまのうつし絵 (朝顔)	三代歌川豊国	嘉永期(1848年~1854年)
4	当盛十花撰 牽牛花	三代歌川豊国・歌川広重	嘉永7年6月(1854年)
5	見立三十六歌撰之内 藤原敏行朝臣 累の亡魂	三代歌川豊国	嘉永5年9月(1852年)
6	見立三十六歌撰之内 在原業平朝臣 清玄	三代歌川豊国	嘉永5年10月(1852年)
7	見立三十六歌撰之内 中務 安方ノ亡霊	三代歌川豊国	嘉永5年11月(1852年)
8	見立三十六歌撰之内 藤原仲文 遠藤武者	三代歌川豊国	嘉永5年11月(1852年)
9	五代目市川海老蔵の安達か原ノば > ・三代目尾上栄三郎の恋ぎぬ・沢 村訥升の生駒之助	歌川国貞(三代豊国)	天保10年7月(1839年)
10	滝夜叉姫・平親王将門・大宅太郎光国	三代歌川豊国	嘉永期(1848年~1854年)
11	滝夜叉・太郎良門・錦木	歌川芳艶	天保14年~弘化3年(1843年~1846年)
12	二代目沢村訥升の安部保名・五代目坂東彦三郎の狐葛の葉・四代目市 村家橘の与かん平	二代歌川国貞	慶応元年10月(1865年)
13	江戸自慢三十六興 両こく大花火	三代歌川豊国・二代歌川広重	元治元年7月(1864年)
14	江戸名所四十八景 第四 九段さか 廿六夜まち之図	二代歌川広重	万延元年12月(1860年)
15	江戸名所四十八景 廿二 両国大花火	二代歌川広重	万延元年12月(1860年)
16	江戸名所道化尽 十七 通壹丁目祇園会	歌川広景	安政6年6月(1859年)
17	江戸名所道化尽 十九 大橋の三ツ股	歌川広景	安政6年7月(1859年)
18	江戸名所道戯尽 十三 鎧のわたし七夕祭	歌川広景	安政6年4月(1859年)
19	木曽街道六十九次之内 蕨 犬山道節	歌川国芳	嘉永5年5月(1852年)
20	木曽街道六十九次之内 安中 清玄	歌川国芳	嘉永5年6月(1852年)
21	木曽街道六十九次之内 追分 おいは 宅悦	歌川国芳	嘉永5年6月(1852年)
22	木曽街道六十九次之内 下諏訪 八重垣姫	歌川国芳	嘉永5年8月(1852年)
23	木曽街道六十九次之内 本山 山姥	歌川国芳	嘉永5年7月(1852年)
24	木曽街道六十九次之内 細久手 堀越大領	歌川国芳	嘉永5年7月(1852年)
25	木曽街道六十九次之内 鵜沼 与右ヱ門 女房累	歌川国芳	嘉永5年7月(1852年)
26	木曽街道六十九次之内 京都 鵺 大尾	歌川国芳	嘉永5年10月(1852年)
27	観音霊験記 秩父順礼十五番 母巣山蔵福寺 湯尾峠の奇談	二代歌川広重・二代歌川国貞	安政6年5月(1859年)
28	観音霊験記 秩父順礼十六番 無量山西光寺 円比丘	二代歌川広重・二代歌川国貞	安政6年頃(1859年)
29	観音霊験記 秩父順礼廿一番 矢の堂 要光山観音寺 八幡宮の神鏑	二代歌川広重・二代歌川国貞	安政6年頃(1859年)
30	雪月花 常州 筑波雪 滝夜叉姫	楊洲周延	明治17年12月(1884年)
31	雪月花 肥前 佐賀花 奥庭怪猫	楊洲周延	明治17年8月(1884年)
32	雪月花 房州 小港の花	楊洲周延	明治18年3月(1885年)
33	題名不詳〈三代目市川市蔵の追善絵(死絵)〉	豊原国周	元治2年3月(1865年)
34	題名不詳〈五代目尾上菊五郎の追善絵(死絵)〉	三代歌川国貞(豊斎)	明治36年(1903年)
35	題名不詳〈五代目尾上菊五郎の追善絵(死絵)〉	三代歌川国貞(豊斎)	明治36年(1903年)
36	題名不詳〈九代目市川団十郎の追善絵(死絵)〉	三代歌川国貞(豊斎)	明治36年(1903年)
37	題名不詳〈九代目市川団十郎の追善絵(死絵)〉	右田年英	明治36年(1903年)